

6月・教皇さまの 意向のために祈りましょう

〜2000人余が参加〜

大阪	7月5日(土) 14時	玉造教会	長崎	6月29日(日) 14時	浦上教会
東京	6月29日(月) 11時	関口教会	大阪	7月4日(土) 14時	玉造教会
長崎	6月28日(日) 14時	浦上教会	東京	6月29日(月) 11時	関口教会

へト口岐部と187殉教者列福式
参加にかかわるお知らせ

イクロン被害など、また地震被害に関する援助要請（国際カリタスのEmergency Appeal/EANなど）に義援金として送金する予定。

募金受付口座は、郵便振替番号000170-5-95979、加入者名カリタスジャパン、通信欄に「ミャンマー サイクロン」または「中国四川大地震」と明記してください。

教区評議会は、一葉募金から各200万円を緊急支援としてカリタスジャパンに送金した。

教のあいさつと続いた。
式には駐日ローマ教皇
大使はじめ国内の司教、

180人の司祭団、教区内外の修道女や信徒3000人が参列し、会場は喜びに包まれた。

宮原司教はいさづの
中で「まず祈る司教であ
りたい。そして祈る教区
になるように力を尽くし
たい」と述べ、教区のモ
ットー「あなたの御国が
来ますように」に沿って
「三位一体の神によつて
もたらされた神の国を、
この福岡教区で広めたい
そのために力を貸してほ
しい」と呼び掛けた。

教師列福式実行委員会は4月末日時点で他教区からの参加申込(二次申込)約11,000人を受け付けた。

次回申込(二次申込)受付は6月15日から7月末まで、長崎教区を含む全国で実施する。

●教区内遠隔地からの参加者のための交通費支援

長崎教区内の遠隔地から列福式に駆けつける参加者のために、その交通費の一部を教区全体で支援し合うことが、今年3月の教区顧問会で決定した。

具体的には、①6月1日（188殉教者列福の日）教皇裁可が發布された記念日）②8月10日（平和のために殉じた人々との連帯の意味も込めて）に献金の協力を呼び掛ける支援額は、長崎市までの片道交通費として距離に応じ千円～2千円の予

「よきおとずれ」4月号
と5月号に、青年たちの
アイデアが始まった「証
し灯（あかしび）」という
活動が掲載され、私は心
打たれた。全国の青年と
連帯し、列福式に向けて
大口ウソクのリレーをし
ようというものだ。青年
たちの熱意の「灯」がリ
レーされ、列福式に共に
集う。善い行いは人をひ
きつけ、参加したい、協
力したいと思わせる。何
か協力できないだろうか
▼青年のともした「証し

◆特典

◇購読(半年間)申込みの方に、更に1ヶ月無料サービス

◇購読(1年間)申込みの方に、更に2ヶ月無料サービス

新聞購読料: 半年(24回) 4740円・1年(48回) 9480円
初回ご送付時の新聞に郵便振替票を同封いたします

◆お申込み方法(いずれかの方法で申込み下さい)

①教会設置の新聞申込みはがきを使用する

②電話(03-5632-4432)で申込む

③FAX(03-5632-7030)で申込む

④E-Mail(kodoku@cwjpn.com)で申込む

●申込み内容: 住所、氏名、自宅電話番号、所属教会をお知らせください

●申込み締切: 6月30日(郵便の場合消印有効)

●申込み宛先:

〒135-8585 東京都江東区潮見2-10-10
日本カトリック会館5階 **カトリック新聞社 購読係**

者に就つて生きる決意をした青年たちの「証し」を、何とかして見える形で残してあげたいものである▼一例を考えてみた聖体が置かれている聖堂では必ず「聖体ランプ」を設置する。この聖体ランプとして、ずっと証しの火をともし続けてもらえる教会・修道会があれば、「証し灯」を絶やさずに保てるのではないだろうか。オイルランプの維持費などの問題があるが、きつと解決策はある。「証し灯」があれば次の活動にも使用できる。教区青少年委員会と青年たちとに役ぞう掛けたい。

2008年度 教区諸委員会新体制

06年秋から「教区諸委員会再編プロジェクト」チームを中心に検討が重

ねられてきた新体制の詳細がこのほど決定、08年度から動き出した。

これまでの11委員会から、3つの部と各部に属する委員会や担当部などへと組織変更となつてい

る。新体制は左表の通り。(一)内は部長、委員長、担当部長。

教区諸活動部門			
教会奉仕者等養成部		福音化推進部 (中村 満師)	信仰養成部 (中浜敬司師)
委員会		担当部	委員会
※その他の教会奉仕者養成については、今後全体構想を練りつつまとめていく。		●社会福祉担当部 (小瀬良 明師)	●信仰教育委員会 (岩本繁幸師)
		●社会福音化委員会 (野下千年師)	●生涯養成委員会 (中浜敬司師)
		●社会福音化委員会 (橋口朝光師)	●青少年委員会 (山村憲一師)
		●家庭福音化担当部 (川上忠秋師)	●典礼委員会 (平本義和師)
			●クルシリヨ担当部 (中村倫明師)
教区公認・任意の活動組織			

もっと知りたい日本の殉教史

第6回 殉教の心得

島原の乱の死はなぜ殉教でないのでしょうか。

長崎純心大学学長 片岡千鶴子 修道女

明治29年、村上直次郎博士が長崎県庁で発見した古写本は、210葉もありました。それを姉崎正治博士が11文書に整理し、その中の殉教に関する文書を『マルチリヨの葉』という題名でまとめ、さらに3種類に分類したのです。

①「マルチリヨの鑑」は3女性の殉教記、②「マルチリヨの勧め」はなぜ迫害が起こるのか、殉教の偉大さ、殉教の覚悟と準備などを6項目に分けて説いたもの、③「マルチリヨの心得」は冒頭に編集の目的を(宗門禁制の時、パードレ、イルマンなき処にては科(罪)にならざる所作行為)を誤りかと咎め、又科になるべき事をも科になるまじきと、思い迷う輩是多し。故に此儀を明むべき為に今此書をあみ立つもの也」と記して、迫害に対してキリシタンが迷わず判断し行動できるように具体的な心得を4力条に書き上げたと言

べています。内容は簡潔に迫害への対応や殉教の条件を説明しています。例えば「殉教」について見ますと、「丸血留になる為には死ぬこと肝要也」と信仰のために命をささげること、しかもそれは「成敗を辞せず、心能く堪忍いたして受くるに於いては丸血留なり」と、十字架のキリストにあやかつて死を甘んじ受けるものであること、従つて「キリシタンなりと成敗すべきに、ふせぎ戦うこと叶はざるなり」と、武器をとつて戦うことは「丸血留にてはあはれからず」と教えています。

島原の乱の死を丸血留としないのはこの理由によります。

列福式を半年後に控える全国的に盛り上がりを見せてきたようです。それ

も、長崎があわてなければならぬほどの盛り上がりだとうかがい、これほどの喜びはありません。長崎と他の教区などという厳密な区分けなどとも存在するものではなく、日本の教会はただ1つだからです。卓越した司教団のご指導のもと、日本教会は1つという姿を天下に掲げたいものです。深い祈りに沈潜した長崎の準備も多少の紆余曲折を経ながら順調に進め

られています。先月中旬に会場設営のための業者選定なども終了し、いよいよ形ある準備の段階にさしかかっています。ただ長崎の盛り上がりで他の教区にないものを

います。メディアもしばしば取り上げています。これらの動きをお祭り騒ぎに向かいつつあると見る向きもなきにしもあらずですが、決してそうではありません。関係のなかにかつことはとても重要なことです。

列福式は同時に殉教祭であり、神聖な祭り、感謝の祭儀です。周辺社会のみならず、日本、あわよくば世界も視野に入れた、騒がしいほんものの祭りを目指したいものです。何者をも排除することなく「すべての民よ」とうたった殉教者に倣つて。

列福式開催に向けて⑧

神聖な祭り

実行委員会事務局 橋本 勲

長崎教区「と」他の教区、教会「と」部外者という区分けにとらわれることなく、「と」ともに」というつなぎのことがばをそこに挟みながら列福式に向かうことはとても重要なことです。

列福式は同時に殉教祭であり、神聖な祭り、感謝の祭儀です。周辺社会のみならず、日本、あわよくば世界も視野に入れた、騒がしいほんものの祭りを目指したいものです。何者をも排除することなく「すべての民よ」とうたった殉教者に倣つて。

写真家の上野彦馬が撮影した 完成後の大浦天主堂



「写真の日」の6月1日にちなみ、日頃から6月1日まで開かれた。写真家の上野彦馬が撮影した完成後の大浦天主堂の写真を展示する。写真展(写真家・上野彦馬撮影)が5月13日から6月1日まで開かれた。展示写真約60枚の中に1864年(元治元年)12月29日完成した大浦天主堂の建設後の1866年(慶応2年)撮影したと見られる写真が展示され、観覧者の足をとめていた。

(写真は上野彦馬の縁戚、江崎べつこう店所蔵、長崎大学姫野純一教授協力)

舞台劇「長崎の鐘」 7月に公演

永井隆博士の生誕100年を記念し、この7月、博士の半生を描く舞台劇「長崎の鐘」(作・演出：岡部耕大、主演：寿大聡、彩橋みゆ)が長崎、松浦で公演される。

劇は原爆投下後の博士の救護活動や故秋月辰一郎医師をはじめさまざまな人々との交流などを描く。長崎公演は7月8、9日(19時・21時)長崎ブリックホール、松浦公演は7月12日(19時・21時)松浦市文化会館ゆめホールで開催。

「アジェンダNOVA」が「長崎の鐘」の協力で結成された「成功させる会」が、長崎公演のピーアール活動に取り組み、代表世話人は片岡千鶴子長崎純心大学学長、高見三明大司教、永井隆三郎長崎市永井隆記念館館長、野下千



也氏の案内で解説を受けた。一方、浦上四番崩れのシンタンの常設展示室は片岡館長が説明(写真)にあたった。

今年の11月24日は、長崎市で188人殉教者の列福式。国内外からは約2万人を超える参加者が予想されており、博物館のリニューアルオープンは列福式の協賛事業の1つといえそう。入場無料。開館時間は月・金曜午前10時・午後4時、土曜午前10時・正午。

長崎純心大学博物館リニューアルオープン。長崎純心大学博物館は5月12日新校舎「ヤヌワリオ」1階にリニューアルオープンした。同館は常設展と企画展の境界を明確にし、生涯学習の環境として広く社会人にも開放される。

オープン記念は片岡千鶴子学長のあいさつのあと、来賓者は企画展示室を博物館内長崎研究所顧問の越中哲

桶、マリア観音などキリシタン資料などの常設展示室は片岡館長が説明(写真)にあたった。

教区主催「広島平和巡礼」 平成20年8月5日～6日 1泊2日

5日(火) 7:00長崎発—下関—広島キリシタン殉教の碑—広島平和記念公園・資料館—平和行進・平和祈願ミサ—ホテル
6日(水) 広島発—山口教会・ミサ—小倉教会—18:00長崎着
参加費 20歳まで 5,000円
21歳以上 10,000円

広島キリシタン殉教の碑(フランススコ遠山甚太郎他2人)、山口教会(ダミアン)、小倉教会(ディエゴ加賀山準人)など福者ゆかりの地も巡ります。

申込・問合先：長崎巡礼センター
(TEL/FAX) 095-842-2393

碎石・栗石・港湾用捨石一式生産販売
たつみ産業株式会社
西田商事株式会社
代表取締役 ミカエル 西田 寛己
本社 〒857-1166 佐世保市木風町1468番地
TEL (0956) 31-8268

車イスでお墓参り可 祈りの丘
長崎駅より車15分、小江原車庫前バス停より徒歩3分
夢が丘ニュータウン東道向が、車50台以上
長崎大理石 (TEL) 095-839-0374
経営管理者 (TEL) 095-839-1008
祭壇前、規格墓碑一切(即納骨可) 210万円

香典返し お礼とご報告

長崎大司教区
●福島貞夫様(香焼)
故マリア福音イ子様
長崎カトリック神学院
●野村ナヨ様(浦上)
故マリア野村國子様
右の方々から神学生養成などのために、香典返しに代えてご芳志を賜り

訂正

5月号2面の「長崎大司教区現勢統計表」で、「結婚」の項目中、「信徒・他宗教」の数字に誤りがありました。左記の通り訂正いたします。

浦上小教区 (誤) 0 ↓ (正) 38
本原小教区 (誤) 0 ↓ (正) 10

平和祈るオルガン演奏



昨年2月3日から永井隆生誕生100年記念事業(同記)が行われてきたが、永井博士の命日にあたる5月1日は、今年2月に亡くなった博士の次女筒井茅乃さんの遺志を受け継い

永井隆博士の命日 追悼ミサと講演会

(浦上教会)



だ記念行事が浦上教会で開かれ、約700人が博士を偲ぶとともに平和への祈りをささげた。追悼ミサは、祭壇そばの博士の写真を前に、平

同司式で行われた。続く講演会では長崎純心大学の片岡千鶴子学長(写真)が、博士の平和への願いと実践について語り、参加者はそのメッセージを

長崎信愛幼稚園記念講演会

長崎市上野町の長崎信愛幼稚園(七軒子園)は今年創立100周年を迎えた。1877年(明治10年)フランスから来日したシヨファイユの幼きイエズス修道



学園理事長・渡辺和子修道女を講師に招き、記念講演会「人を育てる」今、求められている心の教育」が浦上教会で行われた。

幼稚園児の孫を持つ聴講者の1人は、「人への思いやり、自分を大切に

する」ことを伝えたいと思いました」と感想を話した。



た。100周年記念式典は11月8日に開催される。

100周年記念

堂崎天主堂献堂

(五島市)

5月10日、浦頭小教区は、100周年のイベントで盛り上がった。10日、あいにくの雨にたたられ、会場を堂崎の屋外ステージから浦頭教会に移し、コ



主堂物語―世界遺産を目指して―が行われた。コ



植樹、長崎邦人司教区

が出演、福江少年少女合唱団、奥浦混声合唱団、コールアンジェラス(シスター)楓雅(ピアノトリオ)、最後を飾る長崎カトリック合唱団の演奏、それぞれの特徴を生かした聖歌で観客を魅了した。

と、野下千年神父(中町主任。元浦頭教会初代主任)による講話「堂崎天

心に残った。その後、世界的なピアノリスト、グレゴリー・ダゴステイノ氏によるパイプオルガンコンサートがあり、作曲家権代敦彦氏が手がけた「エターナル・ベル

第20回 いのちの講演会 しあわせて何だろう？
講師：渡辺和子ノートルダム清心学園理事長
時：7月13日(日) 13:30～16:00
ところ：チトセピアホール(チケット1000円)
主 催：長崎いのちを大切に作る会ほか
申込先：長崎いのちを大切に作る会事務局
FAX095-842-3745
(問合せ：TEL090-8296-0919)

テーマ 殉教者をださない社会 シンポジウム

「平和の祈り」の列伝(11月24日・25日)に、新たな視点で見てみる

6/14(土) 14:00～17:00 長崎カトリックセンター

聖霊降臨の祝日を間近に控え、目にも鮮やかな新緑が聖霊の息吹を感じさせる5月4日(日)、高見大司教の司式のもと長崎カトリック神学院で堅信式が行われた。

受堅者は野濱達也神父の指導を受けた中学2年の5人の神学生(長崎教区3人、鹿児島教区2人)。代親、家族、主任司祭の見守る中で秘跡が

「戦争は人間の仕業」ヨハネ・パウロ2世の言葉ですが、人間の愚かさや地球上を苦しめているように思えてなりません。被爆は二度とあってはならない。戦争放棄と核廃絶の願いを、歌声に心を込めて世界へ届けたい」と熱い声がかかる。今年も8月9日、平和公園で長崎原爆犠牲者慰

授けられ、感謝式では「これからは自覚を持って歩んでいきたい」という受堅者の決意の音が聖堂に響いた。

祝賀会では、シスター

者で喜びと感謝のうちに

平和祈念式典会場では合唱する被爆者歌う会「ひまわり」

第121回クルシリヨは5月2日夕方から5日まで、イエズス会立山修道院で指導司祭中村倫明師のもとに、16小教区39人(男性13 女性24 助

や神学生のお母さん方の手作りの料理、恩人の方々からのたくさんの差し入れを囲み、楽しいひとときを過ごした。

授けられ、感謝式では「これからは自覚を持って歩んでいきたい」という受堅者の決意の音が聖堂に響いた。

普、被爆者歌う会「ひまわり」は3年半前、長崎の被爆者10人が集い声を

祭1 修道女1が参加して開催された。夫婦2組が参加、75歳

の分離の壁や検問所、キャンプと、紛争の現実を見、住民の生の声を聞くなど衝撃的な体験をし、平和の懸け橋となる決心をさらに強くすることが

加、日本でのプロジェクト中に結ばれた時空を超えての3カ国の若者たちの再会はとても感動的だった。

平均年齢は71歳を超える。現在の会員は30余人に増えた。5月から毎週1回火曜日の午後、長崎県交通会館で寺井氏の熱心な指導で、同氏作曲の2曲を猛練習している。妻

出合いへと導かれた。小教区で信仰生活、奉仕に生きることを大司教さまに誓い、決意を新たにしました。参加者は次の通り。

での分離の壁や検問所、キャンプと、紛争の現実を見、住民の生の声を聞くなど衝撃的な体験をし、平和の懸け橋となる決心をさらに強くすることが

加、日本でのプロジェクト中に結ばれた時空を超えての3カ国の若者たちの再会はとても感動的だった。

力で会員募集に乗り出す。長崎市の三ツ山町、三ツ山教会所属。ともに歌いたい被爆者は会長榎宅へ。電話095(844)8075。

焼1 滑石1 時津2 植松7 水主町3 船越2 間瀬3 平戸1 田平3 青砂ヶ浦2 三井楽3 福岡サン・スルピス大神学院助祭1 聖母訪問会修道女1

平和公園、登録記念物に 国の文化審議会は5月16日、長崎市の平和公園(平和祈念像が立つ公園、爆心地公園、原爆資料館などが立つ3地域)など12件を国の登録記念物(名勝地関係)に登録するよう文部科学相に答申した。爆心地公園には原爆で全壊した浦上天主堂の遺壁が移築されている。

できたと話していた。次回のプロジェクト交流は、イスラエル、パレスチナを会場に、全員協力のもと行うことで3カ国の若者たちの意見が一致した。関係者は「日本でまかれた平和の種が今、すばらしい若木として成長していることを頼もしく思っている」。

東京純心 恵の丘原爆ホームで被爆劇観賞

長崎純心 アフリカの子供たちの現状を聴く

8月の原爆忌を前に高校生の平和学習がめだつ。連休日明けの5月7日は東京都八王子市にある東京純心女子高校生130



人が(引率者代表原田泰宏中・高校教頭)長崎市三ツ山町の恵の丘長崎原爆ホーム別館を訪れた。同校は毎年、平和学習として長崎原爆ホームを訪ね被爆劇を観賞(写

真)、被爆者との交流を続けている。被爆劇は生活相談員・鹿山彰さんから職員の手助けで、15人の出演者が原爆の一閃で重傷を負った苦しみを披露。高校生に衝撃を与えた。小澤砂紀さん(高二)は「被爆劇を見て、原爆を1つの歴史的事実としてだけではなく、そこに込められている人々の思いを知りました」と感想を述べていた。劇の演題は「記憶(約

30分)リハビリ担当の後(うしろ)伸也さんがホーム利用者の被爆体験を聞き取り台本を製作。

長崎純心中・高

5月19日、長崎市の純心中・高等学校は、シエラレオネ(アフリカ)の



ルンサで教育などに携わり現地で30年間働いている根岸美智子修道女(写真、御聖体の宣教クララ修道会)を迎え、アフリカの子供たちの現状などについての講話を聞いた。約10年におよぶ内乱で多くの犠牲を生んだシエ



ラレオネは、2002年の終結後も、貧困や医療環境の不備などのため命を落とす現実が続いているが、人々は皆日々を懸命に生きているという。根岸修道女は、内乱時にさまざまな人々が助け合い、自身も命の危険から守られた体験についてふれ、「命の尊さ、愛の素晴らしさを見ました」と、また、日本においてもこ

出演者の平均年齢は70歳代、最高齢者は94歳の石崎タミコさんで当時の記憶を見事に演じていた。同ホームには長崎南山、大阪女学院、ノートルダム女子中など劇観賞の感想文が寄せられている。また、日本においてもこ

るが、昨年訪問の同純心高(当時2年)の新井有香さんは、「長崎研修旅行で確かに感じた戦争への想いをしっかりと受け止め、『平和』へとつながられるよう努力していきたい」とつづっている。

★ドミンゴス 中村長八神父
ブラジル日本移民の使徒

ペドロ大西 著
水野 一 訳
1923年日本教会史上初めての海外派遣宣教師。1897年司祭叙階、奄美大島の開拓伝道26年目にブラジルの教会と駐

伯日本領事館の要請を受けた日本政府の求めに応じてブラジルへ。著書は日本で知られていない神父のブラジルにおける17年間の超人的宣

いる神父の列福運動についても触れる。神父は浦頭(五島市)小教区出身。長崎教区司祭。発行聖母の騎士社、定価1050円。

萩・津和野巡礼



長崎中地区評議会 は、188殉教者の列福式を控え、少しでも彼らの生きざまを体験し、自らの信仰生活に

生かしたいと、5回に分けて殉教地を訪ねる企画を練り、その第1班(浦上、本原、三ツ山3小教区54人)が5月23日、萩・津和野巡礼を行った。萩のキリシタン殉教者記念公園には188殉教

者の1人「メルキオール熊谷元直」のとてつもない大きな石碑が据えられ、文武に勝り、豪胆な殉教者の性格を表していた。また萩は津和野と並んで浦上四番崩れで流された浦上信徒の殉教地でもあり、全国の流配地の中でも特に迫害が厳しかったといわれる。だが残念なことに殉教者たちの遺骨はいまだに鶴江台の竹やぶの中に埋もれたままと聞き、皆で墓地周りの掃除に汗をかいた。萩教会では殉教者たちの遺徳をたたえるミサをささげ、彼らのとりなしを

祈った。翌日は津和野の乙女峠祭りに参加。全国から集まった千人を超える参列者とともに、殉教者の遺徳をたたえ、津和野教会から乙女峠のマリア聖堂までの1キロ余りを行列。聖堂前広場では三末司教司式のミサにあずかった。この後、昼ごはんもそこそこに急な山道を「十字架の道行き」を唱え、先祖が眠る山中の墓「千人塚」を訪れ、萩・津和野巡礼最後の祈りをささげた。(浦上・古田逸雄)

シドニーでの世界青年の日 長崎から信徒・神学生ら参加 高見大司教も同行 (7/15〜20)

なるには、表面的なものだけでなく深く心の奥に流れる愛を感じ取ることが必要だと思えます。聖心の月を迎えまし

1985年ローマでの集いに始まり、その後、2〜3年ごとにさまざまな国で行われているワ

が開催(写真)された。北海道から徳之島にいたるまで約160人が集い、参加者の中には信徒や50人余の若者の参加があった。今回は、「み言葉」をテーマに、毎日の生活の中で生きた体験を分かち合うなど、互いに愛し合い1つの家族を目指した。今年にはフォコラーレ運動の創立者キアラ・ルービックの帰天に際し、期間中この運動の精神についても深められた。「ギアラさんは一粒

回オーストラリアのシドニーで7月15日から20日まで開催される。長崎教区からは、信徒・神学生など青年3人とアシスタントとして司祭2人、高見大司教も同行する。巡礼の全日程は7月9日〜22日の14日間。

「見える行動で見えない愛を表現したい」。設立者の島山逸雄さんの活動に共感した同ミュージアムの企画で、子供たちが笑顔で遊ぶ様子などの写真や手描きのイラストなどが展示された。施設は11年間で50人の卒業生を送り出し、現在40人の子供たちが入所している。

交通誘導警備 常駐警備 イベント警備
(有)小田警備保障
警備員募集!
電話 095-856-6524 FAX 095-856-6523
長崎市横尾3丁目31-15 代表取締役 テレジア 小田寿美子
専務取締役 パウロ 小田 睦

石 碑
墓地工事
写真彫刻
墓地分譲

なが さき せき ちょう
長崎石彫
ヨゼフ 岩永 博明
☎(095) 862-2469
長崎市梁川町 6-17 岩永ビル

マイホームの美容と健康に!
(有)山川塗装
有限責任中間法人 全国住宅火災防止協会
長崎県建物営繕工事業協同組合理事
代表取締役 ベトロ 山川 進
佐世保市原分町1715-5
TEL(0956)49-3330 FAX(0956)49-8729

みことばにふれて 41 浦上教会学校スタッフ



分の命を使つたんだよ。その『大切な友だち』つてみんなのこと。イエスさまに繋がっていたら、

がって「イエスさまと友だちにならんばつて、はよーいちゃんと教えんば!!」という言葉が返ってきました。

しょうか。とりたてて良い人間でもなく、かえって弱さや失敗で崩れかけているような私のためにイエスさまは、苦しみ・侮辱・悲しみなど数々の

『友』とは、手と手を組み合わせた字で2人が手で互いを守り合うことを表しているそうです。向き合う相手の善になることを望み行うのが親友でしょう。ただの『知り合い』ではなく『友』と

『イエスさまは優しいお方。みんなのために死を選んだ。イエスさまの愛を忘れないで。(子供の言葉より)』
(木村百恵修道女、カッ トモ)

5月3日から6日にかけ、佐世保市でフォコラーレ主催のマリアポリ

が開催(写真)された。北海道から徳之島にいたるまで約160人が集い、参加者の中には信徒や50人余の若者の参加があった。今回は、「み言葉」をテーマに、毎日の生活の中で生きた体験を分かち合うなど、互いに愛し合い1つの家族を目指した。今年にはフォコラーレ運動の創立者キアラ・ルービックの帰天に際し、期間中この運動の精神についても深められた。「ギアラさんは一粒

ハウスオブジョイ展
フィリピン・ミンダナオ島にある児童養護施設「ハウスオブジョイ」(歓びの家)の活動を紹介する企画展が、4月22日

い愛を表現したい」。設立者の島山逸雄さんの活動に共感した同ミュージアムの企画で、子供たちが笑顔で遊ぶ様子などの写真や手描きのイラストなどが展示された。施設は11年間で50人の卒業生を送り出し、現在40人の子供たちが入所している。